MUTOH

組立･取扱説明書

INSTALLATION AND OPERATION MANUAL

DRAFTING STAND

TW-200A

製図台

このたびは製図台 TW-200A をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本製品を安全にご使用いただくために、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく設置してお取り扱いください。

なお、ご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業所までお問い合わせください。

TW200A-A-05

安全にご使用いただくために

取扱説明書内の ⚠警告 と ⚠注意

取扱説明書に記載している表示の内容を危険度の高さに応じて次の 2 段階に分類しています。
以下の警告用語が持つ意味を理解し、本書の内容（指示）にしたがってください。

⚠警告

誤った取扱いをした際に『使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される』内容です。

⚠注意

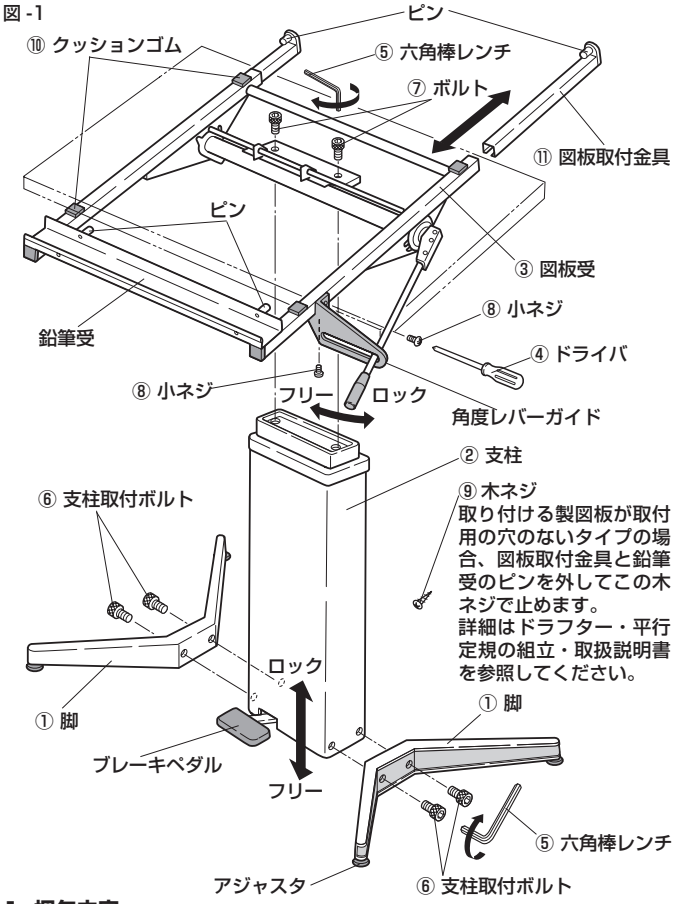
誤った取扱いをした際に『使用者が傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される』内容です。

株式会社 ムトー エンジニアリング
〒154-8560 東京都世田谷区池尻 3-1-3　TEL（03）6758-7120（代表）

営業所
首都圏営業所　〒154-8560 東京都世田谷区池尻 3-1-3　TEL (03) 6758-7130 FAX (03) 6758-7139
中部営業所　〒464-0055 愛知県名古屋市千種区姫池通 2-8　TEL (052) 761-5681 FAX (052) 752-1628
関西営業所　〒560-0083 大阪府豊中市新千里西町 1-1-8（第一火災千里中央ビル 1F）　TEL (06) 6871-9191 FAX (06) 6871-9199

HOME PAGE http://www.mutoheng.com
●保守・サービスのご用命は上記までご連絡ください。

図 -1



1. 梱包内容

梱包内容と現品の照合をしてください。

1-1 部品
① 脚……2
② 支柱……1
③ 図板受……1

1-2 工具
④ ドライバ……1
⑤ 六角棒レンチ……1

1-3 付属品
⑥ 支柱取付ボルト……4
⑦ ボルト……2
⑧ 小ネジ……2
⑨ 木ネジ……4
⑩ クッションゴム……4
⑪ 図板取付金具……2

2. 組立方法

2-1 支柱 ② と脚 ① の組み付け（図 -1 参照）

1) 支柱 ② にかかっているバンドを外してください。
2) 脚 ① のアジャスタ部分が下を向くようにして支柱 ② の穴に脚の穴を合わせて六角棒レンチ ⑤ を用い支柱取付ボルト ⑥ で固定してください。

⚠警告

◆支柱 ② の内側にはエアースプリングが入っています。このエアースプリングは製図台に製図板とドラフターをセットした状態の荷重に調整していますので、支柱 ② のブレーキペダルを踏みブレーキを解除しますと支柱 ② の内側部分が勢い良く飛び出し思わぬケガをすることがあります。支柱 ② のブレーキペダルは製図台とドラフターの組み立てが終わるまで踏まないでください。

2-2 図板受 ③ の組み付け（図 -1 参照）

1) 脚 ① の取り付いた支柱 ② を設置場所に置き、アジャスタで床面とのガタつきを調整してください。
2) 図板受 ③ の鉛筆受を支柱 ② のブレーキペダル側に合わせ六角棒レンチ ⑤ を用い、ボルト ⑦ で固定してください。
3) 角度レバーガイドを図板受 ③ に小ネジ ⑧ で固定してください。
4) 図板受 ③ にクッションゴム ⑩ を貼ってください。鉛筆受側は鉛筆受より約 5cm 離した位置に貼ってください。

3. 製図板・平行定規の取付方法

3-1 製図板・平行定規を取り付ける前に、ドラフター・平行定規の組立・取扱説明書をお読みいただき、その手順にそって取り付けてください。

3-2 取付作業は、図板受 ③ を水平に近い状態で確実に固定してから行ってください。

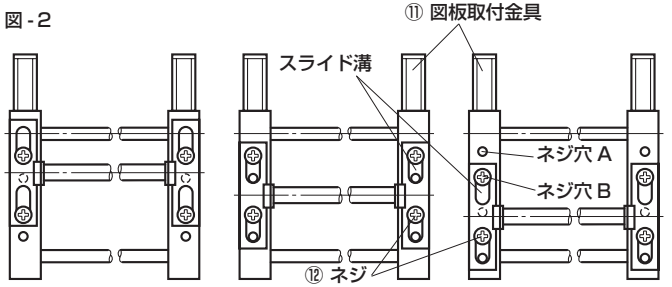
⚠注意

◆図板受 ③ と図板取付金具 ⑪ を固定しているネジは確実に固定してください。確実に締められていないと製図台に製図板が固定されませんので注意してください。
◆製図板等に力を掛けている状態で角度レバーを操作した場合、急激に製図板が傾き思わぬケガをすることがありますので、角度レバーを操作する際には必ず左手で鉛筆受または製図板を支えながら行ってください。

4. 図板受バランス調整方法

下図は、図板受 ③ を裏側から見た図です。

図 -2



4-1 B1 サイズのドラフターを使用する場合
このバランス調整を行う必要はありません。そのまま使用します。

4-2 A1 サイズのドラフターを使用する場合

1) 角度レバーを左にスライドさせフリーにし、図板受 ③ を 30°～40° 傾け、角度レバーを右にスライドさせて傾斜角をロックします。
2) 図板受 ③ の裏側で図板受のフレームを固定しているネジ ⑫ を 2 回転ほど緩めます。（左右 2 ヶ所ずつ）
3) 角度レバーを左にスライドさせフリーにして図板受 ③ を水平に戻し、角度レバーを右にスライドさせて傾斜角をロックします。
4) 図板受 ③ を鉛筆受側から強く押すとフレームがスライドしますので、突き当たるまで移動します。
5) 図板受 ③ の裏側で図板受のフレームを固定しているネジ ⑫ を締め確実に固定します。（左右 2 ヶ所ずつ）

4-3 平行定規を使用する場合

1) A1 サイズのドラフターを使用する場合と同様の手順で、フレームが突き当たるまでスライドさせます。
2) 図板受 ③ の裏側でフレームを固定しているネジ ⑫ を外して、鉛筆受側に見えているネジ穴Bに付け替えます。(左右 2 ヶ所ずつ)
3) 更に図板受 ③ を鉛筆受側から強く押すとフレームがスライドしますので、突き当たるまで移動します。
4) 図板受 ③ の裏側で図板受のフレームを固定しているネジ ⑫ を締め確実に固定します。(左右 2 ヶ所ずつ)

⚠注意

◆ 図板受 ③ のフレームを固定しているネジ ⑫ は確実に固定してください。確実に締められていないと図板受 ③ にフレームが固定されませんので注意してください。

5. 製図台操作方法

5-1 上下操作

1) 製図板の両側を持ち、ブレーキペダルを踏みます。
2) ブレーキペダルを踏んでいる間はブレーキがフリーになっていますので、希望の高さになるまで製図板を上下させてブレーキペダルを離します。

5-2 角度操作

1) 左手で鉛筆受または製図板を支え、右手で角度レバーを左にスライドさせブレーキをフリーにし、製図板を使用する角度に傾斜させます。
2) 左手で鉛筆受または製図板を支え、右手で角度レバーを右にスライドさせ傾斜角をロックします。

⚠注意

◆ 製図板等に力を掛けている状態で角度レバーを操作した場合、急激に製図板が傾き思わぬケガをすることがありますので、角度レバーを操作する際には必ず左手で鉛筆受または製図板を支えながら行ってください。

★以上で製図台に関する組み立ておよび取り扱い方法等は充分にご理解いただけたものと存じます。ご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業所までお問い合わせください。